

修行体験

圓教寺では、天台宗の僧侶たちの日常生活を体験したいと考える参拝者に多くのアクティビティを提供している。その範囲は午後の座禅、写経から、数日間お寺に滞在してお寺の生活を体験するコースなど多岐に渡る。圓教寺は年齢や過去の経験に関係なく参加者を受け入れているが、複数日のオプションに参加する場合には、基本的な日本語のコミュニケーション能力が必要である。

ガイド付き座禅体験は、毎日午後 2 時から常行堂で行われ、60 分間続く。天台宗では、他の修行と組み合わせて座禅を行うことは、悟りを得ることを可能にすると信じられている。参加者は少なくとも体験の 3 日前に予約を行う必要があり、華美でない、快適な服を着て来る必要がある。

日本では、写経は仏教が伝来した 6 世紀後半から始まる長い歴史を持っている。経典は仏教の聖典と考えることができ、機械印刷の発明まで、経典を複製する唯一の方法は手書きであった。経典の一部を写すことは、死後の再生に役立つ功德的な行為と見なされている。食堂では、参拝者は蓮の花びらの形をした紙に観音経の一文字を写経することができる。

圓教寺が用意している 2 日間の体験は、毎年何週間かの限られた週末にだけ開かれている。この 2 日間、参加者は座禅、写経の練習、お経の唱和、境内の散歩、仏教の講義に参加する。